

【ブランド USA】

2026 年サッカーワールドカップの開催を前に、
W 杯の特設ページを一般消費者向けデジタルプラットフォーム
「AmericaTheBeautiful.com」にて公開

～開催都市及びスタジアム周辺地域の観光スポット、アクティビティ、ロードトリップ情報を紹介～

来年 6 月 11 日に開幕するサッカーワールドカップ北中米大会の組み合わせ抽選会が現地時間 12 月 5 日、米ワシントンのジョン・F・ケネディ・センターにて執り行われました。日本代表チームはグループ F に入り、オランダ代表、チュニジア代表、欧州プレーオフ(ウクライナ、スウェーデン、ポーランド、アルバニア)の勝者と対戦します。米国内計 11 都市で開催される本大会で、日本代表は現地時間の来年 6 月 14 日に、初戦をオランダ代表とテキサス州ダラス近郊のアーリントンにあるダラス・スタジアムにて、そして現地時間 6 月 20 日の第 3 戰で、欧州プレーオフ勝者と同スタジアムで対戦することが決まりました。

米国でサッカーワールドカップが開催されるのは、1994 年の単独開催以来 32 年ぶりとなります。この記念すべき大会を控え、アメリカ合衆国の公式観光マーケティング機関であるブランド USA はこのたび、一般消費者向けデジタルプラットフォーム「AmericaTheBeautiful.com」上にて、開催都市やスタジアム周辺地域の観光スポット、文化体験、ロードトリップ情報を網羅した特設ページ (AmericaTheBeautiful.com/Football) を開設しました。特設ページは、ワールドカップ開催期間中はもちろんのこと、その前後に米国を訪れる旅行者を対象に、各開催都市や周辺地域でのお薦めのアクティビティやローカルグルメ、そして AI 機能を駆使した 11 の開催都市を結ぶロードトリップのモデルコースなど、旅の計画に役立つ多彩な情報を提供することを目的に作成しました。

サッカーワールドカップ北中米大会はアメリカ合衆国の建国 250 周年を迎える節目の年に開催されることから、ブランド USA では全米各地で体験できる合計 250 の観光体験情報を「AmericaTheBeautiful.com」にて公開しています。今回ローンチした、サッカーワールドカップ特設ページでは、サッカーワールドカップ期間中に開催都市およびその周辺地域で体験できる 合計 50 のお薦めの観光スポットやアクティビティ を紹介しています。

試合開催都市やその周辺には、サッカー観戦とあわせて楽しめる観光スポットが数多く揃っています。街の景色を慈しむ散策コース、ウォーターフロントエリア、スポーツゆかりの名所、ファンイベント会場など、どの都市でもワールドカップの盛り上がりを街中で体感できます。さらに、本大会に出場する各国の代表チームは、専用のベースキャンプおよびトレーニング施設を設置する予定で、具体的な所在地は後日改めて発表される予定です。

[テキサス州ダラス](https://AmericaTheBeautiful.com)

開催試合数：計 9 試合(開催都市の中で最多で、準決勝の会場でもある。日本代表が 2 試合を戦う舞台)

会場：ダラス・スタジアム(テキサス州ダラス近郊のアーリントンにあるスタジアムで、NFL ダラス・カウボーイズの本拠地。開閉式の巨大ドームがそびえ立ち、最大収容人数は 9 万人以上)

スタジアム周辺地域の主なハイライト

- ダラス・スタジアムから車で約 20 分の場所にあるリユニオン・タワー(地元では“ザ・ボール”の愛称で親しまれる展望タワー)では、高さ約 143 メートルの展望デッキからダラスの街並みを 360 度見渡すことができます。晴れた日には、望遠鏡越しに、約 29 キロ以上離れたスタジアムの姿を見るることができます。
- リユニオン・タワー 17 階にある、ミシュラン推薦のステーキハウス「クラウン・ブロック」では、上質な熟成ステーキや新鮮なシーフードを、ダラスの街並みを望む特別な雰囲気の中で堪能できます。
- 街角の至る所からジャズが流れ、彩り豊かな壁画で活気溢れるディープエラム地区にあるダラスを代表する BBQ レストラン「ピーカン・ロッジ」で、世界的に有名なテキサスバーベキューを楽しむことができます。ブリスケットやサザンフライドチキンといった定番メニューに加え、スマートしたハラペニヨンソーセージやオクラ料理といった地元の人気ローカル料理の他、チョコやナッシュ、プレッツェルなどを丸ごと混ぜ込んだボリューム満点のテキサス名物のデザート「タンブルウイードクッキー」が提供されています。
- 「テキサスは何でもスケールが大きい」ということで知られていますが、ダラス・アーツ・ディストリクトは全米最大のアート地区として名高い場所です。ダラス美術館、ナッシャー・スカルプチャー・センター、クロウ東洋美術館といった象徴的な文化施設に加え、サッカーワールドカップに合わせてダラス中心部では新しい壁画が数々制作されており、街中に新たなアートスポットが誕生しています。
- サッカーワールドカップの舞台となるダラス・スタジアム(ダラス・カウボーイズの本拠地でもある AT&T スタジアム)は、世界最大のドーム型建造物として知られ、スタジアムツアーでは館内に展示された 300 点以上のアート作品を観賞することができます。
- ダラス・スタジアムから車で約 40 分の場所にあるフリスコに位置するトヨタ・スタジアムには、全米サッカー殿堂(NSHOF)があり、女子大会のトロフィーや優勝チームのジャージーを含む 400 点の貴重な記念品が展示されています。来館者は、VR ゲームで臨場感溢れるサッカーの試合を体感したり、その場で印刷できるオリジナルスカーフをデザインできる体験プログラムに参加したり、好きな選手を選んで“理想のドリームチーム”を編成できるインターラクティブ体験を楽しむことができます。

➤ ダラスからロードトリップでその先へ

ダラスからは、音楽とカルチャーが息づくオースティン、アルアモで知られる歴史都市サンアントニオ、ワインカントリーとして人気のフレデリックスバーグをはじめ、ウェイコやハイコ、テキサス BBQ の名所ロックハート、湖畔の風景が美しいマーブルフォールズなど、個性豊かな近郊の街へとドライブで簡単にアクセスできます。詳しい情報は[こちら](#)をご参照ください。

テキサス州ヒューストン

開催試合数：計 7 試合（ラウンド 32 のノックアウトステージ 1 試合、ラウンド 16 のノックアウトステージ 1 試合を含む）

会場：ヒューストン・スタジアム（テキサス州ヒューストンにある開閉式屋根を備えた多目的スタジアムで、NFL ヒューストン・テキサンズの本拠地。2002 年開業で最大約 72,000 人を収容可）

スタジアム周辺地域の主なハイライト

- ダウンタウン・ヒューストンでは、サッカーワールドカップに合わせて整備中の、7 ブロックにわたる歩行者用プロムナード「メインストリート・プロムナード」を散策できます。
- ヒューストン・スタジアムから車で約 20 分の複合アート・商業施設「POST」では、特別展示「*Art of Soccer Exhibit*」が開催中で、地元アーティストが手がけた高さ約 1 メートルのサッカーボールの形を模したファイバーグラス製のアート作品を鑑賞できます。
- ヒューストンを代表する主要紙「ヒューストン・クロニクル」が選ぶ「2025 年ベストバー」に輝いたのが、クラフトビールと大型スクリーンが人気の屋外ビアガーデン「ソーシャル・ビアガーデン」です。店内のスポーツ放映は、地元コミュニティに合わせて英語とスペイン語の両方で行われ、毎週木曜の夜には、コメディショーも楽しめます。
- ヒューストン・スタジアムから徒歩圏内にあるレストラン「コラーチュファクトリー」では、テキサスらしい“多国籍料理のアレンジ”を気軽に楽しめます。ここでは、チェコの伝統菓子コラーチュに、スペイシーなハラペニヨソーセージを合わせた“テキサスならでは”的ローカルメニューが人気で、軽食や食べ歩きにもお薦めです。

➤ ヒューストンからロードトリップでその先へ

ヒューストンからは、バイユー（湿地帯）が広がるエリアを楽しめるレイクチャールズや、海辺の景観と歴史が魅力のガルベストンなど、個性豊かな近郊のエリアへとドライブで簡単にアクセスできます。詳しい情報は[こちら](#)をご参照ください。

ジョージア州アトランタ

開催試合数：計 8 試合（準決勝を含む）

会場：アトランタ・スタジアム（ジョージア州アトランタにある最新鋭の多目的スタジアムで、NFL アトランタ・ファルコンズと MLS アトランタ・ユナイテッドの本拠地。2017 年開業の開閉式ルーフを備え、最大約 75,000 人を収容可）

スタジアム周辺地域の主なハイライト

- アトランタ・スタジアム（メルセデス＝ベンツ・スタジアム）の 90 分のスタジアムウォーキングツアーでは、NFL のアトランタ・ファルコンズや、北米プロサッカーリーグ「MLS」のプレーオフ決勝戦「MLS カップ」優勝チームであるアトランタ・ユナイテッドのロッカールームなどを見学できます。同スタジアムツアーでは、フィールド見学、スタジアム名物の展望スポット「Window to the City」から見下ろすアトランタの眺望、さらにスカイブリッジやプレミアムクラブなど、LEED 認証（人や環境について考慮した建物を評価する国際認証制度）を受けており、同スタジアム内の名所を巡ることができます。

- アトランタ・スタジアムから車で 15 分ほどのある「ブリューハウスカフェ」はサッカーファンに人気のバーです。MLS チームのアトランタ・ユナイテッドの 2025 年公式パブパートナーである同店の「レモンペッパー・チキン・ウイング」は、地元の名物料理の一つになっています。
- アトランタ・スタジアムから徒歩圏内にあるコカ・コーラミュージアム「ワールド・オブ・コカ・コーラ」には、香りや映像を組み合わせた没入型の“マルチセンサリーシアター”をはじめ、さまざまな香りを試してフレーバーの違いを体感したり、自分だけのオリジナルコーラを調合したり、世界各地の 100 種類以上のコーラ飲料を試飲できるコーナーなど、多彩なインタラクティブ展示が揃っています。サッカーワールドカップ参加国のフレーバーを含む多くのコーラが揃い、中にはここでしか味わえないものもあります。
- 公共交通機関「MARTA」の駅周辺に設置されたミニサッカーコートで楽しむ「ステーションサッカー」が最近人気を集めています。この取り組みは、非営利団体「Soccer in the Streets」が進めるコミュニティプロジェクトで、MARTA の駅構内や周辺にミニコートを整備し、旅行者でも気軽に立ち寄り、地元の人たちと一緒にミニゲームに参加できる、アトランタならではのユニークな体験です。
- アトランタ・スタジアムから徒歩圏内のジョージア水族館は北米最大の規模を誇り、約 4,160 万リットルの水槽で生息する 500 種類以上の海洋生物を観察することができます。館内の没入型ギャラリーでは、世界の海洋生態系の壮大さと美しさを体感できるほか、保全をテーマにしたプログラムや動物とのふれあい体験も提供されています。

➤ アトランタからロードトリップでその先へ

アトランタからは、名門ゴルフ大会で知られるオーガスタ、静かなビーチリゾートとして人気のヒルトンヘッド島、歴史的街並みが魅力のサバンナ、そして音楽文化が息づくメイコンなど、文化と自然が調和した個性豊かな地域へと、ドライブでアクセスできます。詳しい情報は[こちら](#)をご参照ください。

マサチューセッツ州ボストン

開催試合数：計 7 試合（準々決勝を含む）

会場：ボストン・スタジアム（マサチューセッツ州フォックスボローにある多目的スタジアムで、NFL ニューアイランド・ペイトリオッツと MLS ニューイングランド・レボリューションの本拠地。2002 年開業で最大約 65,000 人を収容可）

スタジアム周辺地域の主なハイライト

- ボストン・スタジアムから車で 30 分ほどに位置する、ボストンの豊かなスポーツ史を称える「ミュージアム・オブ・スポーツ」は、ナショナルホッケーリーグ（NHL）のボストン・ブリーチンズと NBA ボストン・セルティックスの本拠地「TD ガーデン」内にあり、全長約 800 メートルにわたる展示エリアを見学できます。地元のスポーツ専門チャンネルの解説者・キャスターになった気分で実況体験ができる「Be the Broadcaster（あなたが実況者！）」が人気のコーナーです。
- ボストン・スタジアムから車で約 30 分のドーチェスターに位置するアイリッシュパブ「ザ・バンシー」は、地元で人気のスポーツバーです。サッカーアメリカ代表を応援するサポートグループ「American Outlaws」の公式拠点として知られ、2 フロアに計 14 台のテレビを備えた観戦スポットとして多くのファンに親しまれています。地元アスリートがゲストバーテンダーとして登場する「セレブリティ・バーテンダー・ナイト」も名物イベントです。

- ボストン・スタジアムから車で約 30 分のアメリカ最古の公園であるボストン・コモンは、1862 年にはすでにフットボールの原型といえる競技がプレーされていたとされており、その歴史が息づく地を実際に歩いて巡ることができます。この公園は、米国初の組織的サッカークラブである「オナイダ・フットボールクラブ」の本拠地でもありました。近くには、スポーツの草創期を支えた功労者たちを称える記念碑が建てられています。
- ボストンではサッカーワールドカップの前後に、女子サッカーのプロリーグ「ナショナル・ウイメンズ・サッカーリーグ」(NWSL)に新加入する「ボストン・レガシー」のデビューシーズンの試合を観戦できます。

➤ ボストンからロードトリップでその先へ

ボストンからは、海辺の静かなリゾート地ファルマス、歴史情緒あふれるエドガータウン、ケープコッドの中心地ハイアニス、アートと自然が息づくプロビンスタウン、そして海洋研究で知られるウッズホールなど、魅力的な沿岸地域へとドライブでアクセスすることができます。詳しい情報は[こちら](#)をご参照ください。

ミズーリ州カンザスシティ

開催試合数：計 6 試合(準々決勝 1 試合を含む)

会場：カンザスシティ・スタジアム(ミズーリ州カンザスシティにある屋外スタジアムで、NFL カンザスシティ・チーフスの本拠地。1972 年開業、計約 73,000 人を収容可)

スタジアム周辺地域の主なハイライト

- カンザスシティ・スタジアムから車で約 15 分の位置に今年 4 月、バーベキューの歴史と文化を紹介する世界初の博物館「ミュージアム・オブ・バーベキュー」がオープンしました。体験型の展示が充実し、バーベキューで使われるスモークウッドやスパイスの香りを嗅ぎ分ける“香りテスト”や、ベイクドビーンズをテーマにしたポールプールなど、楽しみながらバーベキューの基本や地域ごとの違いを学べる工夫が随所に施されています。
- カンザスシティ・スタジアムから車で約 20 分の位置にある CPKC スタジアムでは、女子プロサッカー「NWSL」(ナショナル・ウイメンズ・サッカーリーグ)のプロチーム「KC カレント」(カンザスシティ・カレント)の試合を観戦できます。CPKC スタジアムは、世界で初めて“女子プロスポーツチーム専用”として建設されたスタジアムとしても知られています。同スタジアム近隣には、名物バーベキューの「ジョーズ KC バーベキュー」や、地元クラフトビールで知られる「ブルーバード・ブリューイング Co.」など、カンザスシティを代表する人気店が揃っています。
- KC カレントの選手たちが運営するコーヒースタンド「ピッチサイドコーヒー」は、試合の日には CPKC スタジアム内に出店し、その他の日は市内各所でポップアップ形態での営業をしています。
- カンザスシティ・スタジアムから車で約 15 分の場所にある「ザ・ダブ」は、市内で初めて“女子スポーツだけを放映する”バーです。店内のテレビでは女子サッカーをはじめ、女子スポーツの試合やハイライトが放映されています。
- カンザスシティでは市内の主要スポットを巡る「カンザスシティ・ストリートカー」が無料で利用できます。リバーマーケットやパワー&ライト・ディストリクト、グリーティングカードで知られるホールマーク本社があるクラウン・センターなどを訪問することができます。

➤ カンザスシティからロードトリップでその先へ

カンザスシティからは、ルート 66 の風景とクラシックアメリカの魅力が感じられるスプリングフィールドや、ミシシッピ川沿いの歴史都市セントルイスなど、個性豊かな近郊地域へとドライブでアクセスすることができます。詳しい情報は[こちら](#)をご参照ください。

カリフォルニア州ロサンゼルス

開催試合数：計 8 試合（準々決勝 1 試合を含む）

会場：ロサンゼルス・スタジアム（カリフォルニア州イングルウッドにある最新鋭の多目的スタジアムで、NFL ロサンゼルス・ラムズとロサンゼルス・チャーチャーズの本拠地。2020 年開業で最大約 70,000 人を収容可）

スタジアム周辺地域の主なハイライト

- ロサンゼルス・スタジアムから車で約 30 分の場所にある「ロサンゼルス・メモリアル・コロシアム」では、選手がフィールドへ向かう際に通る選手用トンネルや、特別ゲスト向けの VIP ラウンジ席である“創設者スイート”、そして展望デッキを巡る 75 分間のウォーキングツアーを楽しむことができます。この歴史ある会場は、過去 2 度の夏季オリンピックをはじめ、複数のスーパー bowl や大学フットボールの名勝負、さらにマドンナをはじめとする世界的アーティストの伝説的コンサートが開催されてきた場所として知られています。「ロサンゼルス・メモリアル・コロシアム」の隣にある「BMO スタジアム」では、メジャーリーグサッカー「MLS」の男子プロサッカークラブ「LAFC」や、女子プロサッカークラブ「NWSL」の「Angel City FC」の試合など、1 年を通してコンサートやイベントが開催されています。
- ロサンゼルス・スタジアム（SoFi スタジアム）では、巨大な両面 4K ビジョンや、ロサンゼルスの景色を見渡せるオープンエアのコンコースなど、最新のハイテク設備や建築デザインを間近で楽しむことができます。サッカーワールドカップに向けて特別に導入された天然芝と人工芝を組み合わせたハイブリッドの芝や、芝の品質を試験するためのテスト用フィールドの感触を、実際にフィールドに立って体験することができます。
- ロサンゼルス市内にはバラエティに富んだフットボールバーが街中に揃っています。リンカーンハイツにある「ラ・チュペリア」は、メキシコのサッカーリーグの試合観戦スポットとして知られています。一方、ダウンタウンロサンゼルスにある「ラ・シタ・バー」は、メキシコ代表チームのファンが集まる定番スポットです。メキシコも今回の大会の開催国であることから、どちらの店もいつも以上の盛り上がりが期待されます。サンタモニカにある「ブリタニア・パブ」にはプレミアリーグのファンが集まり、近くの「イー・オールド・キングス・ヘッド」は、サンタモニカ・ビーチからすぐの場所にある伝統的な英国風パブ & レストランとして人気です。トーランスにある「アブソリューション・ブリューリング・カンパニー」では、地元クラフトビールを味わいながらサッカー観戦を楽しめます。
- ロサンゼルス観光局が作成したレストランガイド「[Taste of the World Cup Tour](#)」では、サッカーワールドカップ参加 48 カ国の多様な食文化、各国を代表する料理を提供する市内の厳選レストランを紹介しています。

➤ ロサンゼルスからロードトリップでその先へ

ロサンゼルスからは、砂漠リゾートのパームスプリングスや、自然の絶景が広がるジョシュアツリー国立公園、エンターテインメント都市ラスベガス、そしてルート 66 沿いの象徴的なスポットが残るアンボイなど、個性豊かな近郊地域へドライブでアクセスすることができます。詳しい情報は[こちら](#)をご参照ください。

フロリダ州マイアミ

開催試合数：計 7 試合（準々決勝・3 位決定戦を含む）

会場：マイアミ・スタジアム（フロリダ州マイアミガーデンズにある多目的スタジアムで、NFL マイアミ・ドルフィンズの本拠地。1987 年開業で最大約 65,000 人を収容可）

スタジアム周辺地域の主なハイライト

- マイアミ中心部の人気アートエリア「ウインウッド・ウォールズ」には、リオネル・メッシを描いたカラフルな壁画が複数展示されています。
- 世界的な評価を受けるアートミュージアム「ペレス・アート・ミュージアム・マイアミ（PAMM）」では、サッカーワールドカップ期間に合わせて、100 名以上のアーティストによるスポーツをテーマにした企画展「*Get in the Game*」が来年 3 月から 8 月まで開催されます。
- マイアミ・スタジアムから車で約 20 分のスポーツバー「グレイルズ」では、最大 70 台の TV スクリーンでサッカー中継を楽しめます。人気のカクテルは少量生産のスニーカー型のカクテルグラスで提供され、このセラミック製のグラスはお土産として持ち帰ることができます。
- マイアミ国際空港近くの旧ゴルフ場跡地に整備が進められている大型複合施設「マイアミ・フリーダム・パーク」は、広大な約 23 万平方メートルの敷地内に公園、ホテル、レストラン、ショッピング店舗が揃う新名所として注目されており、2026 年に第一弾オープンが予定されています。

➤ マイアミからロードトリップでその先へ

マイアミからは、カリブ海の雰囲気が漂うイスラモラダや、島文化と歴史が息づくキーウェスト、透明度の高い海を望むリトル・トーチ・キーなど、個性豊かなフロリダ・キーズへドライブでアクセスすることができます。詳しい情報は[こちら](#)をご参照ください。

ニューヨーク／ニュージャージー：

開催試合数：計 8 試合（決勝戦を含む）

会場：ニューヨーク／ニュージャージー・スタジアム（ニュージャージー州イーストラザフォードにある多目的スタジアムで、NFL ニューヨーク・ジャイアンツとニューヨーク・ジェッツの本拠地。2010 年開業、最大約 82,500 人を収容可）

スタジアム周辺地域の主なハイライト

- ニューヨーク／ニュージャージー・スタジアムから車で約 30 分の「ロックフェラー・センター」には大会期間中、「ファン・ビレッジ」が設置され、全試合がライブ放映される予定です。名物のアイススケートリンクのスペースは人工芝を敷いたサッカーアイベントエリアへと変わり、ミニゲームやコンサート、文化プログラム、特別パフォーマンスが開催されます。さらに、展望台「トップ・オブ・ザ・ロック」でも特別企画が実施され、ニューヨークの摩天楼を背景にサッカーワールドカップの興奮を味わうことができます。

- 同スタジアムから車で約 20 分の場所にあるニュージャージー州のリバティー州立公園ではサッカーワールドカップ期間中、39 日間におよぶ大型ファンフェスティバルが開催されます。ニューヨークの街並みやエリス島、自由の女神像を一望できる絶好のロケーションで、試合のライブ放映に加え、世界最大級のコンサートプロモーター「ライブネイション」が手掛ける音楽ステージやサッカービュー、スポンサー関連の展示、地域文化を紹介するプログラムなど、大会をより深く楽しめる多彩なイベントが行われます。
- 大会決勝戦の舞台となるニューヨーク／ニュージャージー・スタジアム(メットライフ・スタジアム)では、約 2 時間の見学ツアーを催行しています。近隣のカーニーやハリソンは、19 世紀後半から英國系移民によってサッカー文化が根付いた場所で、全米でも最初期のサッカー拠点として発展した“アメリカサッカーの原点”ともいえる地域の歴史に触れることができます。
- ニューヨークの主要な交通拠点の周辺には、サッカーファン必訪のスポーツバーが数多く揃っています。ペンシルベニア駅やバス・ターミナル近くの「フットボール・ファクトリー・アット・レジデンズ」では、毎週 100 試合以上を放映し、世界中のサッカーファンが集まります。ブルックリンの「バンター」は店内がサッカー一色の人気バーで、また 1932 年に創業した名店「ザ・サッカー・タバーン」は、禁酒法時代から続くとされる歴史あるバーとして知られている一方、世代を超えて地元サッカーファンが集うスポットとなっています。
- ニューヨーク／ニュージャージー・スタジアム周辺には、各国のサポーターが集まる人気店が数多くあります。アルゼンチン代表のファンは「ボカ・ジュニアーズ・レストラン」、コロンビア代表のサポーターは「エル・バスレロ」、ウルグアイ代表のファンはクイーンズの「ラ・グラン・ウルグアヤ」を訪れるのが定番となっています。スペイン代表やスペインのクラブチームを応援する人々には「ラ・ナシオナル」、チリ代表のファンには「ラ・ロハ・デ・トドス」、そして開催国の一であるメキシコ代表のサポーターには「パバツル」が人気です。また、欧州リーグのファンは、ナポリ風ピザで評判の「リバルタ」でイタリアサッカーを観戦するという楽しみ方もあります。

➤ ニューヨーク／ニュージャージーからロードトリップでその先へ

ニューヨーク／ニュージャージーからは、ボードウォークとカジノで知られるアトランティックシティや、歴史と文化が息づくフィラデルフィア、スタジアムが立地するイーストラザフォード、そして植民地時代の街並みが残るスミスピルなど、個性豊かな近郊地域へとドライブでアクセスすることができます。詳しい情報は[こちら](#)をご参照ください。

ペンシルベニア州フィラデルフィア:

開催試合数: 計 6 試合(うち 1 試合は決勝トーナメント「ラウンド 16」)

会場: フィラデルフィア・スタジアム(ペンシルベニア州フィラデルフィアにある多目的スタジアムで、NFL フィラデルフィア・イーグルスの本拠地。2003 年開業、最大約 69,000 人を収容可)

スタジアム周辺地域の主なハイライト

- “友愛の街”として知られるフィラデルフィアでワールドカップ会場となる、フィラデルフィア・スタジアム(リンカーン・フィナンシャル・フィールド)ではスタジアムツアーを催行しています。ツアーはガイド付きと自由見学のいずれかを選ぶことができ、ピッチ、ロッカールーム、選手入場用トンネル、試合後インタビューに使われるメディアルームなど、通常は入れないエリアを見学することができます。自由見学は約 30 分で、自分のペースで気軽に楽しめます。

- フィラデルフィアでは近年、グルメシーンが盛り上がりを見せてています。2025 年には、同市で初となるミシュランガイドが発表され、3 つのレストランが一つ星を獲得しました。高級レストラン以外でも、フレンチやイタリア料理、ユダヤ料理を取り入れた季節の多皿コースが人気の「ハー・プレイス・サパークラブ」、地元食材を生かした創造的な 8 品のテイスティングメニューが高い評価を獲得している「フライデー・サタデー・サンデー」、そしてフレンチと韓国料理を融合させた独創的なコースを親密な空間で楽しめる「プロヴナンス」など、試合観戦の合間に訪れた魅力的なレストランが揃っています。
- フィラデルフィア・スタジアムから車で約 10 分の場所にある、女性アスリートを応援するスポーツバー「Marsha's」は、フィラデルフィアで初めてクイア (LGBTQ+) オーナーが立ち上げた注目のスポットです。店内では複数リーグの女子スポーツを積極的に放映しており、女性アスリートの活躍を称えつつ、地域のスポーツカルチャーを盛り上げています。
- フィラデルフィアを訪れるサッカーファンにぜひお薦めの名物が、1930 年代に誕生したご当地サンドイッチ「フィリーチーズステーキ」です。元祖として知られる老舗「パツ・キング・オブ・ステックス」では、薄切りリブアイならではの独特の食感のチーズステーキが人気です。さらに、向かいにあるライバル店「ジーノズ」や、ミシュラン・ビブグルマンを受賞した「アンジェローズ・ピッジエリア」でも、それぞれ個性の異なるスタイルを提供しており、試合観戦の合間に食べ比べを楽しむことができます。

➤ フィラデルフィアからロードトリップでその先へ

フィラデルフィアからは、ボードウォークとカジノが有名なアトランティックシティや、ヴィクトリア様式の街並みが美しいケープメイ、歴史スポットが点在するチェスター、州都として知られるドーバー、世界的に著名な庭園を擁するケネットスクエア、アーミッシュ文化が息づくランカスター、港町として栄えたルイス、そしてビーチリゾートとして人気のリホボスピーチなど、個性豊かな近郊地域へとドライブでアクセスすることができます。詳しい情報は[こちら](#)をご参照ください。

カリフォルニア州サンフランシスコ

開催試合数：計 6 試合（ラウンド 32 の 1 試合を含む）

会場：サンフランシスコ・ベイエリア・スタジアム（カリフォルニア州サンタクララにある多目的スタジアムで、NFL サンフランシスコ 49ers の本拠地。2014 年開業、最大約 71,000 人を収容可）

- サッカーワールドカップに向け、大型アートプロジェクト「Big Art Loop」が進行中で、大会後も数年にわたり展開される予定です。その第一弾として、11 月に「Big Art Loop – Portside」がスタートし、サンフランシスコのウォーターフロント沿いに 10 点の大型アート作品が公開されています。試合観戦と合わせて、街全体でアートを楽しめる新しい体験として注目を集めています。
- サンフランシスコ・ベイエリア・スタジアムから車で約 15 分の近く「グレート・ビッグ・ゲームショー」は、テレビ番組風のゲームショーを体験できるエンターテインメント施設です。2~14 名のグループが、照明や音響が整った番組さながらのセットで、参加者に合わせてカスタマイズされる複数のミニゲームに挑戦でき、まるで本物のゲームショーに出演しているような臨場感を感じられます。
- サンフランシスコ・ベイエリア・スタジアムから車で約 10 分の場所にある「グーグル・ビジター・エクスペリエンス」では断続的にコミュニティイベントが多数開催されており、ウェルネスセッション

やアートクラス、さらには(同社が過去にスポンサーを務めた)NWSL チャンピオンシップのパーティなど、多彩なプログラムを楽しむことができます。

- サンフランシスコ市内から離れずにサッカー観戦を楽しみたいファンには、2軒の個性派バーがお勧めです。「ハイ・トップス」はカストロ地区で初かつ唯一のゲイ・スポーツバーで、「リッキーズ」は市内で唯一の“女子スポーツ専門”スポーツバーです。
- カクテル好きには、サンフランシスコ市内にあるマティーニの名店 23軒をリストアップした「サンフランシスコ・マティーニ・トレイル」がお薦めです。クラシックから創作系まで、店ごとに個性豊かなマティーニを楽しむことができ、街のバー文化を一度に味わえるユニークな体験となっています。

▶ サンフランシスコからロードトリップでその先へ

サンフランシスコからは、透明度の高い湖と山岳風景が広がるサウス・レイクタホや、世界屈指の絶景を誇るヨセミテ国立公園、ゴールドラッシュの面影が残るプレザーヴィル、そしてタホ湖畔のリゾートタウンとして人気のタホ・シティなど、個性豊かな近郊地域へドライブでアクセスすることができます。詳しい情報は[こちら](#)をご参照ください。

ワシントン州シアトル

開催試合数：計 6 試合(ノックアウトラウンド 2 試合を含む)

会場：シアトル・スタジアム(ワシントン州シアトルにある多目的スタジアムで、NFL シアトル・シーホークスと MLS シアトル・サウンダーズの本拠地。2002 年開業、最大約 69,000 人を収容可)

スタジアム周辺地域の主なハイライト

- シアトル・スタジアムから車で約 10 分の、シアトルを代表する観光名所「スペースニードル」すぐそばにある「チフーリ・ガーデン・アンド・グラス」では、隣町タコマ出身でレイクユニオンに長年暮らすガラスアーティスト、デイル・チフーリ氏による、全長約 30 メートルの壮大な彫刻や精巧な手吹きガラス作品を鑑賞できます。同じく、「スペースニードル」すぐ近くの「シアトル・グラスブローゲーリング・スタジオ」では、吹きガラス体験に参加することもできます。
- スポーツを応援するファンが集まれる新しいスポットとして、2025 年 8 月に「ピッチ・ザ・ベイビー」がオープンしました。シアトル初の“女子スポーツ専門”スポーツバーで、店内ではドラッグクイーンが司会を務めるドラッグ・ビンゴや、クラフトビールやカクテルを味わえる試飲イベント、ゲストスピーカーによるトーク企画など、多彩なイベントが開催されています。一方で、メジャーリーグサッカー「MLS」の名門クラブ、シアトル・サウンダーズの元選手フレディ・モンテロは、故郷コロンビア産の上質なコーヒーを提供する「Santo Coffee Co」をオープンし、市内で話題のスポットとなっています。
- サッカーワールドカップに向けて、シアトルでは「ユニティ・ループ」と呼ばれる全長約 6.8 キロの歩行ルートの整備を進めています。このルートはシアトル・スタジアムからシアトル・センターまでをつなぎ、途中には新しく誕生した約 8 万平方メートルの敷地面積を誇るウォーターフロント・パーク、ウェストレイク・パーク、オクシデンタル・スクエア、そしてチャイナタウン・インターナショナル・ディストリクトなどの見どころが点在しています。観光客は市内の主要スポットを歩いて巡りながら、街の魅力を感じることができます。

- シアトルを訪れたら欠かせないのが「パイク・プレイス・マーケット」です。ここでは地元クラフトのショップを巡ったり、パシフィック・ノースウェストならではの味覚を試したり、名物の“魚投げパフォーマンス”を見ることができます。また、シアトルらしい景色を楽しみたい方には「スペースニードル」がおすすめで、頂上の展望台からは、市街地や港湾エリア、そして周囲を囲む山々を望む、360 度の大パノラマを見ることができます。

➤ シアトルからロードトリップでその先へ

シアトルからは、都会の喧騒を離れて大自然の絶景が広がるマウントレーニア国立公園や、太平洋に面した港町ポート・アンジェラス、歴史ある街並みが残るポート・ギャンブル、豊かな自然景観が魅力のオリンピック国立公園、そしてフェリーで気軽にアクセスできる人気の島ベインブリッジアイランドなど、個性豊かな近郊地域へとドライブでアクセスすることができます。詳しい情報は[こちら](#)をご参照ください。

「アメリカは、ピッチの上でも外でも、サッカーファンに比類のない体験を提供します。2026 年サッカーワールドカップは、サッカーへの情熱と“究極のアメリカ旅行”を組み合わせる絶好の機会です。サッカーファンの皆さんには、ぜひ早めに渡米いただき、アメリカならではの魅力を体感できる象徴的な地域を訪れていただきたいと思います。[AmericaTheBeautiful.com](#) に掲載されている多彩なリソースが、冒険心をかき立て、生涯忘れられない旅を実現するためのインスピレーションとなる筈です。」
(ブランド USA のプレジデント兼最高経営責任者(CEO)、フレッド・ディクソンのコメント)

上記ニュースの関連高解像度画像・映像素材は、[こちら](#)よりダウンロードいただけます。

■ ブランド USA について

アメリカ合衆国の公式観光促進団体であるブランド USA は、合法的にアメリカへと渡航する旅行者を対象としたインバウンド旅行需要の喚起、米国経済の強化、輸出の拡大、雇用の創出、そして地域社会発展への貢献を使命として掲げています。市場調査の結果に基づいたマーケティング活動と、統一化されたアメリカ旅行業界と政府関連機関の意図を礎に、最新の査証および入国関連の情報を発信し、アメリカ合衆国を世界有数の旅行先として位置づけるべく、活動を展開しています。

ブランド USA は 2012 年の設立以来、旅行業界のパートナーと連携して実施してきたマーケティング施策により、訪米旅行者を 1,030 万人増加させ、約 350 億ドル(約 5 兆 2,500 億円／1 ドル=150 円換算)の消費を創出し、その経済効果は累計で 760 億ドル(約 11 兆 4,000 億円)に達しています。また、これらの取り組みによって年間平均約 4 万件の雇用を支え、100 億ドル(約 1 兆 5,000 億円)の税収を生み出しています。これらの成果はすべて、米国納税者の負担なしで実現されており、1 ドルの投資にあたり 20 ドル(約 3,000 円)の経済的リターンを生み出しています。

当リリースに関するお問い合わせ先

ブランド USA 日本事務所 (広報担当:早瀬、水口、野間)

TEL:03-6261-5385 E-mail:BrandUSAJapan@aviareps.com